



# 「教師の魅力」について語ろう！

## 「教師の魅力について考えるセミナー」

### ～先生に期待するもの～



令和6年1月29日(月)、茨城県教育研修センターの講堂にて、NITS・茨城県教育研修センター  
コラボ研修「教師の魅力について考えるセミナー～先生に期待するもの～」を開催しました(オンライン  
でも同時配信)。

#### 【第1部】講演

講師 大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子さん

演題 「大空小学校の「あの時」と「今」をつなぐ」

冒頭では、大空小学校を舞台としたドキュメンタリー映画『みんなの学校』に出演していた当時の  
こどもたちが、困難を抱えながらもたくましく成長を遂げた今の姿を映像にてご紹介いただきました。  
教師を目指して大学で学業に励んでいる方も登場しました。

その後、泰子さんは、こども達が育ってくれた背景について、ご自身の本質的な考え方を交え、語っ  
てくださいました。いくつかのフレーズの中から主なものを紹介します。

「学びの目標は、その子がその子らしく育つこと」

「学校の最上位目標は、全てのこどもの学習権を保障すること」

「260人いれば260通りのその子らしさがある。だから“教える”こと自体に無理がある」

「学校だけでこどもを育てようなんて、教師のおごり」

「教育ではなく発育を支援する、子どもは育てるのではなく育つ、というイメージ」

「抱え込まずに外の力・他人の力を頼り活用すること」「職員室が安全基地である必要がある」

「指導は一瞬で暴力に変わる」「指導より環境(空気)をつくるのが大人の役割」

「学校の主語はこども」「決めるのはこども自身」

「自分がつくる自分の学校という当事者意識があれば、こどもは人のせいになくなる」

「困っている子が困らなくなる環境が大事」「一人にしないこと」

「大丈夫? 何に困っているの? 私にできることない?と訊ねる」

「学校・教師の最後の存在価値は、こどもとこどもをつなぐ、ということ」

「こどもをスーツケースに入れるのではなく、風呂敷に包むというイメージ(多様性を認め伸ばす)」

また、泰子さんのもとでこどもたちと向き合った元同僚の先生方からのメッセージ動画も上映され  
ました。「こどもと学びに対する愛があれば教員は大丈夫」「学校には、訊いてもらえる、話しても大丈  
夫、何かあれば助けてくれる、という安心感が必要」「こどもと一緒に学べてお給料までもらえるすば  
らしい仕事」といった言葉が印象的で、皆さん教師冥利を公言してはばからない方たちばかりでした。

#### 【第2部】パネルディスカッション「教師の魅力とこれからの先生に期待するもの」

パネラーの方々の主なご発言は次のとおりです。

○時事通信出版局出版事業部部長 坂本建一郎さん

「先生は、こどもと学ぶことで、社会を創る手応えを直接感じるができるうらやましい職業。次の社  
会を創る素晴らしい仕事。」

○水戸ホーリーホック会長 沼田邦郎さん

「先生はこどもの人生、世の中をも変えられる。若い人たちが夢をもてるように、地域の企業としてで  
きるがあればサポートしていきたい。」

○モーハウス代表 光畑由佳さん

「先生は、社会を良くするための起業家。多くの人が先生を目指し、若い人に社会を変えていてもらいたい。」

○笠間市立笠間中学校教諭 小沼一彦さん(企業勤務経験者)

「親御さんが大切に育てているお子さんを預かるという責任を痛感するが、生徒の成長を間近で見られて、ときめきがある。教師も生徒も人として対等で学ぶところがある。」

パネラーの皆さんが児童生徒だった時代から現在までに経験された様々なお立場から、教師の魅力や苦勞、期待などについて、お話を聴かせていただきました。

温かい雰囲気の中で対話が花開いたセミナー。一人でも多くの視聴者の方が、教員への志、教員としての志、教員を応援する志を膨らませてくだされば幸いです。

最後に、参加者の方々から寄せられた感想の一部をご紹介します。

- 「子どもにとってのつながりを大事にすることは重要だと感じた。教員になるにあたり、どうしても仕事量と給料の面で悪く考えがちになっていたが、子どもと共に学び続けるこの職業は、他にない素晴らしい魅力だと感じた。」(大学生)
- 「『学校の先生は次の社会を創る仕事』という話が印象に残りました。すてきですね。家庭もそうですよね。見習います。将来の大人を育てていることを肝に命じて、それぞれの子供たちの光るところを見守っていきたいと思います。」(県外保護者)
- 「こども達の今ではなく、よりよい未来を目指して何が必要かを本気で考えることの大切さを知りました。」(県内教職員)
- 「日々思い悩むことがたくさんありますが、改めてとても魅力的な仕事であることを心から感じることができました。これからの若手教員にも学んだことを伝えていきたいです。」(県内教職員)



第1部「講演会」



教師の醍醐味を伝える木村泰子さん



第2部「パネルディスカッション」



教師への期待について熱く語らう  
パネラーの皆さん